

2013年度第3四半期(3か月)連結決算ハイライト(米国会計基準)

2014年2月4日
伊藤忠商事株式会社
(単位: 億円 △損失・減少)

2013年度第3四半期(3か月)決算の概要

- 当第3四半期の「当社株主帰属四半期純利益」は、前年同期比93億円増益の752億円。第3四半期単独では過去最高益を達成。
- 当第3四半期における特殊損益(税金、非支配持分控除後)は、投資有価証券売却益+35億円、固定資産減損等△15億円、持分法投資損益関連△130億円、合計△110億円。
- セグメント別の「当社株主帰属四半期純利益」は、金属を除く営業セグメントにおいて前年同期比増益を達成。絶対額では、100億円超が、住生活・情報(166億円)、食料(161億円)、金属(148億円)。次いで、機械87億円、繊維74億円、エネルギー・化学品42億円。
- 営業利益については、繊維はほぼ横ばいだが、他のセグメントにおいては増益を達成。

	2013年度 第3四半期	2012年度 第3四半期	前年同期比
資源	121	75	+ 46
非資源	557	473	+ 84
その他	74	111	△ 37
(非資源その他小計)	(631)	(584)	(+ 47)
資源/非資源比率	18%/82%	14%/86%	+4%/△4%

経営成績	2013年度 第3四半期	2012年度 第3四半期	前年同期比	主たる増減要因
【連結損益計算書】				
収益	14,448	10,752	+ 3,696	・収益 : エネルギー・化学品においては石油製品取引及び化学品取引の増加等により増収、住生活・情報においては国内外の住宅資材関連事業の好調な推移及び携帯電話関連事業会社の業容拡大等により増収、食料においてはDole 事業取得等により増収、機械においては自動車及びプラント関連取引の増加等により増収、加えて為替が円安になったことによる影響もあり増収
売上総利益	2,657	2,183	+ 474	
その他の収益(△費用)				・売上総利益 繊維 + 3(337 → 340) : 中国向け繊維原料取引の増加及び新規ブランド導入等により増益 機械 + 43(216 → 259) : 自動車、建機及びプラント関連の取引増加に加え、円安の影響等があり増益 金属 + 94(172 → 265) : 鉄鉱石価格が前年同期比では上昇したこと及び販売数量増加、海外でのソーラー関連取引の増加並びに円安の影響等があり増益 エネ化 + 37(368 → 405) : エネルギーのトレーディング取引における採算改善、化学品取引の増加及び円安の影響等があり増益 食料 + 117(520 → 637) : 主としてDole 事業取得に伴う増加により増益 住・情 + 185(527 → 712) : パルプ取引及び国内外の住宅資材関連事業の好調な推移、不動産取引の貢献、携帯電話関連事業会社の業容拡大に加え、円安の影響等があり増益
販売費及び一般管理費	△ 1,891	△ 1,653	△ 238	
貸倒引当金繰入額	△ 8	△ 8	△ 0	
金利収支	△ 35	△ 34	△ 0	
受取配当金	48	40	+ 8	
(金融収支)	(14)	(6)	(+ 8)	
投資及び有価証券に係る損益	56	83	△ 27	
固定資産に係る損益	△ 2	△ 15	+ 13	
その他の損益	33	47	△ 14	
その他の収益(△費用)計	△ 1,800	△ 1,542	△ 258	
税引前利益	857	641	+ 216	・販売費及び一般管理費 : Dole 事業取得をはじめとする新規連結子会社化に伴う増加及び円安の影響等
法人税等	△ 242	△ 147	△ 95	
税引後利益	614	494	+ 120	・金融収支 : 主として受取配当金の増加による
持分法による投資損益	155	223	△ 68	
四半期純利益	769	717	+ 52	・投資及び有価証券に係る損益 : 株式評価損益△36(35→△1)、株式売却損益+12(51→63)、事業整理損等△3(△3→△6)
非支配持分帰属四半期純利益	△ 17	△ 58	+ 41	
当社株主帰属四半期純利益	752	659	+ 93	・固定資産に係る損益 : 固定資産売却損益+30(△6→24)、固定資産評価損△16(△13→△29)、その他賃貸料収入等△1(3→3)
(参考)				
売上高	37,806	31,584	+ 6,222	・その他の損益 : 主として為替益の減少による
(売上総利益率)	(7.0%)	(6.9%)	(+ 0.1%)	
営業利益	757	521	+ 236	・持分法による投資損益 繊維 + 1(22 → 23) : 持分法適用関連会社各社が堅調に推移し、ほぼ横ばい 機械 △ 7(25 → 18) : リース関連事業及び自動車関連事業の取込利益の増加はあったものの、プラント関連事業の取込利益減少等により、全体としては減少 金属 △ 84(80 → △ 4) : 豪州金属資源関連事業及び国内鉄鋼製品関連事業の取込利益増加はあったものの、石炭価格下落によるコロンビア石炭事業の取込利益減少及びブラジル鉄鉱石事業における一過性の税金費用の計上等により、全体としては悪化 エネ化 + 22(△59 → △37) : メタノール事業における定期修繕長期化及びバイオエタノール事業の一過性の損失計上はあったものの、前年同期の米国石油ガス開発事業における減損損失計上の反動等により改善 食料 △ 15(92 → 77) : CVS 事業における前年同期の投資有価証券売却益計上の反動等 住・情 + 43(65 → 108) : 海外パルプ事業におけるパルプ価格の上昇及び国内金融関連事業における貸倒費用の減少等
実態利益	934	758	+ 176	

※ 実態利益 = 売上総利益 + 販売費及び一般管理費 + 金融収支 + 持分法による投資損益

【連結包括損益計算書】

	2013年度 第3四半期	2012年度 第3四半期	前年同期比
四半期純利益	769	717	+ 52
その他の包括損益(税効果控除後):			
為替換算調整額	712	880	△ 167
年金債務調整額	8	6	+ 3
未実現有価証券損益	113	245	△ 132
未実現デリバティブ評価損益	△ 9	△ 26	+ 17
その他の包括損益(税効果控除後)計	825	1,104	△ 279
包括損益	1,594	1,821	△ 227
非支配持分帰属包括損益	△ 21	△ 59	+ 38
当社株主帰属包括損益	1,573	1,762	△ 189

オペレーティング セグメント情報

当社株主帰属四半期純利益	【当社株主帰属四半期純利益】主たる増減要因			(参考) 営業利益 (注)		
	2013年度 第3四半期	2012年度 第3四半期	前年同期比	2013年度 第3四半期	2012年度 第3四半期	前年同期比
繊維	74	66	+ 8	81	82	△ 1
機械	87	76	+ 11	61	31	+ 29
金属	148	161	△ 13	219	116	+ 103
エネルギー・化学品	42	△ 14	+ 55	112	90	+ 22
食料	161	130	+ 31	140	96	+ 44
住生活・情報	166	128	+ 37	147	102	+ 45
その他及び修正消去	74	111	△ 37	△ 3	3	△ 7
合計	752	659	+ 93	757	521	+ 236

(注) 営業利益の主たる増減要因については、「平成26年3月期 第3四半期決算」添付資料P. 22をご参照ください。